

令和2年4月22日

千葉県立若松高等学校
第1学年生徒の皆さん

千葉県立若松高等学校
校長 佐藤 仁

皆さんに伝えたいこと

4月7日の入学式から2週間が経ちました。入学式翌日から臨時休業のため在宅学習の日々が続いていますが、皆さん、元気に過ごしていますか。

入学式の日、私は正門内側で皆さんの登校時の顔を見ていました。楽しそうな顔、嬉しそうな顔、不安げな顔等様々でしたが、しっかりと挨拶する皆さんを見て、うれしさを感じるとともに、これからの皆さんの3年間に思いを馳せることができました。

皆さんにとっては、学級担任、同級生と接する時間がわずかしがなく、新たに始まる高校生活が、どんな人たちとのつながりを中心に行われていくかが、まったくわからなかったことと思います。とはいえ、皆さんは千葉県立若松高等学校第1学年生徒です。このことに自信と誇りを持って、毎日を過ごしていきましょう。

さて、今日は**3つ**のことを伝えます。

1つ目です。入学式では書面の式辞にて、入学に当たって思うことを伝えました。この書面を再度読み、当面のこと、これからの3年間のことを考えてください。

第2・第3学年生徒には、4月6日の始業式で「① 家庭での学習体制の確立、② 生活習慣の確立、③ じりつ」が必要であることを話しました。「じりつ」には「自律」の意味を込めて話したのですが、もう一つ「自立」も思い浮かべながら話をしました。このことも、念頭に、毎日の生活を送ってください。

学級担任、授業担当、同級生、先輩生徒等とのかかわりが無い中での高校生活、在宅学習に、様々な不安や心配があることでしょうか、周りの人たちと助け合って、乗り切っていきましょう。もちろん、学習課題のこと、学校生活のこと、不安なこと、悩んでいること、その他些細なことでも、遠慮なく学校へ、まずは担任の先生に連絡して構いません。

ただし、学校への連絡は学校が開いている時間に、学校の電話に行ってください。また、先日お知らせした「そっと悩みを相談してね～SNS相談@ちば～」等の学校外の相談窓口の利用も有効な手立てになることがあります。

2つ目です。千葉県高等学校文化連盟から以下の連絡がありました（4月9日）。

令和2年6月末までに開催を予定している千葉県高等学校総合文化祭開催事業、部門別全国大会・関東大会のための予選会や選考会等、講習会・研修会については、すべて中止します。

また、千葉県高等学校体育連盟から以下の連絡がありました（4月2日及び4月17日）。

(4/2)

関東高等学校体育大会千葉県予選会は中止とする。

(4/17)

- 1 千葉県高等学校体育連盟主催事業は、6月末まで以下のとおりとする。
 - 大会・講習会は中止とする。
- 2 全国高等学校総合体育大会が開催される場合の出場（選手・チーム）については、当該競技の特性に応じた客観的事実に基づいて決定する。

高等学校では、4月から6月末までに、文化部、運動部を問わず、地区大会、県大会、関東大会等の各種大会が開催されることが多いですが、これらの大会等を6月末まで開催しないとの連絡です。具体的なことは、これからの各競技団体からの連絡を待っていますが、特に部活動にも一生懸命取り組もうと意気込んでいた生徒の皆さんは、このことを承知してください。

3つ目です。学習課題への取組は順調に進んでいますか。先ほども述べたように、学校での授業がまったく行われていない中での学習課題なので、困惑することがたくさんあることでしょう。学習課題の大きな意義は、中学校卒業までに蓄えたものを減らさないこと、これからの高等学校の学習がどんなものであるかを知ること、そして、臨時休業後、速やかに日常の学習活動に戻るための準備です。しっかり取り組んでください。一方、学校では、教科・科目の学習以外の場でも多くのことを学びます。この学びの素材に、以下の動画視聴を勧めます。

植松 努 思うは招く (YouTube : Hope invites | Tsutomu Uematsu)

この動画は、他校校長先生に勧められたもので、私も視聴して素晴らしいと感じました。視聴後には ①得たこと、②共感したこと、③反論すること、④今後の自分に活かせること等を文字化してみるとよいです。文字化することで、考えがまとまり、次の判断がしやすくなることがあります。

先が見通せないことは、誰も不安や心配を感じることです。今の状況は必ず収束するはずですが。その時のことをイメージして、今やるべきことを考え、判断し、進んでいきましょう。それでは、学校で皆さんと再会できる日を心待ちにしています。